

公立高校入試情報 徳島県

【社会】

令和6年度徳島県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問数：地2・歴2・公1・地歴公1の計6問（昨年と同じ）
- 小問数：35問（昨年と同じ）
- 文章記述問題は6問（昨年は7問）
- 出題傾向について
- 文章記述問題の難易度は高くないので、基本事項や資料から読み取れることを言葉で表現できるように練習しておくとうい。
- 地理分野は、統計資料の読み取り問題が見られる。
- 歴史分野では、できごとがいつ起こったかやできごとの前後関係をおさえる必要がある。
- 公民分野は、基礎的な知識を問う問題が多い。

■ 文章記述問題の出題

- ・資料から読み取れること・考えられることを指定語句を用いて記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

- ・歴史のおもなできごとやその前後関係を問う問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

★徳島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●
		日本の姿	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州、アフリカ州	●		●
		北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法			
		日本の自然、人口	●	●	●
		日本の資源・産業、世界との結びつき	●	●	●
		九州地方、中国・四国地方		●	●
	歴史的分野	近畿地方、中部地方	●	●	●
		関東地方、東北地方、北海道地方	●	●	●
		文明のおこりと日本	●		●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●		●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国		●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活			
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治、国会	●	●	●
		内閣・裁判所、三権分立	●		●
		地方自治		●	
		消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●	●	●
		財政、国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち		●	●
		分野統合	●	●	●
	出題形式別の傾向	大問数	6	6	6
		小問数	35	35	35
		記号解答	19	17	17
		用語記述	10	12	12
		文章記述	6	6	7
		作業・作図			